

占冠を舞台に3回目！ エクステラトレイルランin占冠2017



7月9日、エクステラトレイルランin占冠2017が占冠村農園公園周辺をメイン会場とする特設コースで開催されました。3回目となる大会では、64名の出場選手が、山林を走りぬげ、全員が無事にゴールしました。

村の出来事

7月・8月

村内の出来事、話題をお届けします

とま〜るで 一足先に夏祭り



7月27日、小規模多機能施設「とま〜る」で夏祭りが行われました。室内を夏のお祭り会場に見立て、射的ゲームのほか、焼き鳥やかき氷を食べべたり、昼食時には流しそうめんを行い賑わいました。施設利用者や子どもたち約70名が集い、楽しい夏のひと時を過ごしました。

広島平和体験学習報告 平和を考える映画会



8月9日、平和を考える映画会がコミュニケーションプラザで行われました。広島平和体験学習に参加した中学生ら6名から報告があり、出席した約50名が耳を傾けました。その後、アニメ映画「ヒロシマに一番電車が走った」を鑑賞しました。長崎原爆投下の日、参加者は、報告や映画から戦争の悲惨さや平和の尊さを改めて確認し、平和を考える機会となりました。

反核平和の火リレー



7月26日、上富良野町から占冠村までを走りつなぐ「第30回反核平和の火リレー」が行われ、占冠村総合センター前にて、到着集会が行われました。村内の青年女性を中心に、広島平和体験学習に参加する中学生とともに、17名のランナーが村内を走り繋ぎました。ランナーは「ヒロシマ・ナガサキ」の心を忘れずに、核も戦争もない平和な社会の実現を訴えながら走りました。

大切な資源 ごみのこと



ペットボトルの分別収集に ついてのお願い

占冠村の一般家庭や事業所から回収されたペットボトルは、中富良野町の資源回収センターで圧縮された後、苫小牧市にあるリサイクル事業者によってペットボトルフレックになっています。

その後、飲料、ボトル、繊維、フィルムメーカーなどへ出荷され、新しいペットボトルやプラスチックラベル、シャンプーなどの詰め替え用容器、コンビニで販売されているホットコーヒーのふた、学生服やセーラー服、ランドセルなど様々なものに生まれ変わっています。

世界的に有名なサッカークラブである「リアルマドリード」や「マンチェスターユナイテッド」のユニフォームも、この事業者のペットボトルフレックから作られています。また、2018年に開催される「ワールドカップ・ロシア大会」で「日本代表」が着るユニフォームになることも決まっています。

このように、皆さんが使用したペットボトルは色々なものに姿を変えて、世界中で活用されています。



【ペットボトルを捨てる時の注意点】

- 調味料の容器などは一見ペットボトルに見えても、実際は「プラスチックごみ」となるものがあります。識別マークを確認のうえ適切な分別をお願いします。
- ラベルが付いていると中に異物があるか見えません。リサイクル効率が低くなるため必ず剥がしてください。また「潰せるペットボトル」も異物の混入が見えにくくなるので、できるだけ潰さないようにお願いします。
- 工作等でカットされたものは、ペットボトルかどうか判別できなくなるため入れないでください。
- 草刈り等で使用する「混合油」をペットボトルに入れしないでください。リサイクルの工程で発火する恐れがあり、非常に危険です。
- キャップは必ず外してください。(キャップはプラスチックごみへ)



＊ペットボトルの中に、一部でも別のごみが入っていた場合は、すべて一般ごみとなります。つまり、私たちの村にある一般ごみの埋め立て処分場のごみの量が増えることとなります。

一度使用したペットボトルを適正にリサイクルし、再びご家庭に戻すことで持続可能な資源循環につながります。またCO2削減など地球環境の保全にも役立っています。

回収の時点できれいな状態であれば、リサイクルの効率は更に高まりますので、皆さんのご協力をお願いします。

■お問い合わせ

産業建設課環境衛生担当 電話 56-2173